

富士の民話 あれこれ

富士の中島に、富士川のはんらんで流れ着いたと言われる「子育て地蔵」が祭られています。今回は、子供について御利益があるという「子育て地蔵」のお話を紹介します。

中島の 子育て地蔵



お祭りに公開される「子育て地蔵」



みこしを担ぐ前の

祈とうと子供たち

昔、富士の中島にカヤ積み場がありました。昔の家はほとんどカヤぶき屋根だったので、人々は富士山のすそ野からカヤを刈り、一カ所に積んでおいたのです。

あるとき富士川がはんらんし、カヤ積み場に八十センチメートルくらいのお地藏さんが流れ着きました。お地藏さんは長い年月をかけて流れ着いたらしく、汚れていて、首も取れていました。そんなお地藏さんを見つけた村人は大変かわいそうに思い、取れていた首の代わりに、丸い石を乗せ、社をつくってお地藏さんを祭りました。そして、カヤ積み場の周辺をお地藏さんの地所にし、そこからとれるお米をお地藏さんへの年貢として、お祭りも行うことにしました。

そんなある日、子供ができずに困っている村人がお地藏さんに「子宝に恵まれますように」とお参りしました。すると、すぐに子供が授かりました。また、子供の体が弱くて困っていた村人が「子供が丈夫になりますように」とお願いすると、間もなく子供はすっかり元気になりました。

それからいつの間にかこのお地藏さんは「子育て地蔵」と呼ばれるようになったのでした。

私たちが子供のころは縁日のお祭りという感じが強く、浴衣を着てお小遣いをもらってお菓子などを買うのがとても楽しみでした。

今ではお地藏さんのお祭りを、中島上区と中島下区が交代で毎年七月二十二日に行っています。露店がたくさん並び、子供たちが太鼓をたたいたり踊りを踊ったりと、年々にぎやかになりますよ。このお地藏さんはその名も「子育て地蔵」なので、いつの時代も子供に囲まれてにぎやかなのかもしれないね。

それに今でも子供のことでお参りする人をよく見かけます。また、このあたりの家では「子育て地蔵」のお札を張っている家も多いんですよ。



中島下区区長 氏子総代 中島下区老人会会長
平井 良弘さん 岡根谷正夫さん 鈴木 巖さん

こちら編集室

昨年の年末にスキーに行ったら全然雪がなく、スキー場は雪景色どころか枯れ草景色…。せっかくスキー板と靴を新調したのに一回も滑らず、一日中宿にいて温泉に入ったり、卓球をやったりしていました。

「地球が温暖化したら日本でス

キーができなくなってしまうかもね」なんて言っていたら、1月の大雪。大きな被害や影響もありましたが、やっと冬が楽しめます。とりあえずは、仕事が一段落したら日帰りでもいいから、初滑りに行きたいな。それまでどうか雪が溶けてしまわないように…。

人口 236,126人
男 117,654人 女 118,472人
世帯 76,385世帯 (1月1日現在)
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
静岡県富士市永田町1-100 ☎51-0123
ホームページ <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

